

目標達成計画

作成日: 平成 29 年 4 月 21 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		看取り介護の流れ(説明書)を作成するとともにターミナルケア実施についての同意書を用意しているが、本人・家族の意向確認の内容が薄い	緊急時に備えて医療機関に提示できるように、想定できる状況を検討し、本人と家族の意思確認するための同意書の作成して医療連携体制を確立する。	協力医療機関や訪問看護ステーションとの連携をとり、緊急時に備えて医療機関に提示できるように想定できる状況を検討し、本人と家族の意思確認するための同意書の作成して医療連携体制を確立する。	2ヶ月
2		自治会など地域との関わりが薄いので、繋がりを広げるのが課題である。	自治会などと関係性を築き、地域情報を得て、外出機会の確保など、繋がりを広げる。	自治会などとの関係性を築き、運営推進会議の定期参加して頂き、それに伴い地域情報を得て、外出機会の確保など、繋がりを広げる。	6ヶ月
3		共用空間の中で、独りになれたり、気の合った入居者同士で過ごせる居場所がない	共用空間の中で、独りになれたり、気の合った入居者同士で思い思いで過ごせる居場所や空間づくりをする。	椅子やテーブルの配置を変えたり、ソファの設置も検討し、共用空間の中で、思い思いで過ごせる居場所や空間づくりをする。また、入居者の作品づくりや行事の記念写真なども展示できるスペースをつくる。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。